



南条つ子

南条小学校だより

南条つ子は 進んで学ぶ子

R2.6.15

No.11

思いやりのある子

かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



○ アンケートの結果

学校が完全再開されて3週目に入りました。6月1日(月)～12日(金)の授業日10日間に休んだ人は、1日平均4.6人でした。(最多が7人、最少が2人)再開後の2週間の子どもの様子をみていますと、いろいろな制限がある中で、全体的にとってもよく頑張ってくれていると思います。

そうした中、12日(金)にアンケート調査を実施しましたので、その結果をお伝えします。

全校児童275人中、欠席者を除いた271人が回答しました。

1 学校が始まって2週間がたちましたが、体の具合はどうですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
元 気	37人 84%	45人 100%	46人 98%	46人 94%	37人 100%	49人 100%	260人 96%
あまり元気 ではない	7人 16%	0人 0%	1人 2%	3人 6%	0人 0%	0人 0%	11人 4%

「元気」と答えた児童は、全体の96%(260人)でした。2・5・6年生は、回答者全員が「元気」と答えてくれました。「あまり元気ではない」と答えた人数が一番多かったのが1年生で、学校が始まってまだ学校生活に慣れていないことや緊張していることが原因で、疲れているのかもしれない。

これからどんどん暑くなってきますし、習い事やスポーツ少年団の活動も再開されましたので、さらに疲れやすくなってくると思います。ゲームやインターネット関連で息抜きをすることも必要かもしれませんが、睡眠時間を十分に取らしましょう。体調管理に努めて、元気な毎日を過ごしてほしいと思います。

2 困ったことや心配なことはありませんか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
あ る	4人 9%	2人 4%	4人 9%	5人 10%	1人 3%	0人 0%	16人 6%
な い	40人 91%	43人 96%	43人 91%	44人 90%	36人 97%	49人 100%	255人 94%

「困ったことや心配なことがない」と答えた児童は、全体の94%(255人)で、6年生だけが全員なしでした。さすがに高学年ほど、体と心の管理ができています。普段の生活に新型コロナウイルス感染症対策のストレスも加わりますので、辛くなったら早めに信頼できる人に相談してください。自分に合ったストレス発散の方法を見付けることも大切です。

○ 新しい学習指導要領 小学校では2020年度から全面实施

「学習指導要領」は、文部科学省が定める教育課程(カリキュラム)の基準であり、全国どこの学校でも、学習指導要領に基づき教育課程(カリキュラム)が編成されます。この学習指導要領は、時代の変化や子どもたちを取り巻く状況、社会のニーズなどを踏まえ、約10年ごとに改訂されており、教科書なども学習指導要領の改訂を受けて変わります。

【新しい学習指導要領の下で変わることは？(主な変更点)】

・「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の視点からの授業改善

(1)「主体的な学び」の視点

学ぶことに興味や関心を持ち、自分の進路や職業などの方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげるような学びになっているかという視点。

(2)「対話的な学び」の視点

子ども同士が目標を共有し力を合わせて活動をしたり、先生や地域の人との対話や先人の優れた考え方を手がかりに考え、自分の考えを広げ深めるような学びになっているかという視点。(新型コロナウイルス感染症予防対策のため、実施しにくくなっています。)

(3)「深い学び」の視点

各教科等で、その教科等なりの「見方・考え方」を学ぶだけでなく、様々な教科等で学んだ見方・考え方を相互に関連付け、自分なりに問題を見出し解答を導きだせるような学びになっているかという視点。

このように、子どもたちが能動的(アクティブ)に学び続ける「アクティブ・ラーニング」の視点から、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視して、学校の授業を改善していきます。子どもたちが学んだ一つ一つの知識がつながり、「わかった」「おもしろい」と思える授業、周りの人たちと共に考え、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業などを工夫して、子どもたちの資質・能力を育てていきます。

・外国語教育

小学校3・4年で「外国語活動」が、小学校5・6年で教科としての「外国語」が導入されます。高等学校卒業までに外国語でコミュニケーションできるようになることを目指し、「聞く」「読む」「話す」「書く」の力を総合的に育みます。(福井県ではすでに始めています。)

・プログラミング教育

小学校では「プログラミング教育」が必修化されます。コンピュータに意図した処理を行わせるための論理的な思考力「プログラミング的思考」などを育みます。

・道徳教育

様々な課題に「自分ならどうするか」と向き合い、自分とは異なる意見をもつ他者と議論する授業などを通じて道徳性を育みます。小・中学校では「特別の教科 道徳」が新設されます。(すでに始めています。「教科」ですが、数字やABCでの評価はしません。)

・評価の観点 4観点→3観点

これまでの各教科の評価は、「知識・理解」、「技能」、「思考・判断・表現」、「関心・意欲・態度」の4観点で行っていましたが、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で行うようになります。(通知表の内容も変わります。)

今年は、小学校教育において、大きく変わる1年なのです。(中学校は来年から)

